



2025 年度



D ライセンスコーチ養成講習会

岐阜県立土岐商業高等学校コース 報告書

日 程 : 2025 年 8 月 25 日(月)

場 所 : 講義会場・岐阜県立土岐商業高等学校 実技会場・岐阜県立土岐商業高等学校

参 加 者 : 32 人

チューター: 今井 隆治 ・ 西尾 真央 ・ 松永 英機

【参加者の感想】

・講習会を通して今日の朝練でも試合を見る中でのプレーの一つ一つに着目して試合を振り返ることができました。また、海外の試合や SPLYZA でとった試合の見方も変わってサッカーに対する考え方が指導者目線もあることに気づくきっかけになった。子どもたちいかに安全に楽しくサッカーの時間をつくるか、非常に勉強になりました。何よりも自分がもっとサッカーと関わる時間を楽しまないといけないと思いました。 佐々木 理将さん

・サッカーをどのように楽しむのかよく分析することができました。また、オープンマインドで自分の意見も大事だけど他の人の意見を尊重することも大事なんだなとよく分かりました。この講習会で自分たちのチームに足りないことをよく観察して、いいチームになれるようにしたいと思いました。 深萱 飛友さん

・オープンマインドで他の人の意見をしっかり聞くことと小学生などに伝えるのはとても難しいことなのを学ぶことができました。 古田 龍二郎さん

・指導者から見た、サッカーに対する考え方や選手達に何を求めるのかをしっかり考えてくださっていることが分かりました。そして指導者になるためには多くの知識が必要だということもわかり、大変だなと思いました。 加藤 巧馬さん

【担当チューターより成果と課題】

チューターとして初めて担当した U-18 コースでした。参加者の皆さんにとって「楽しく・安心・安全にプレーできる環境をどう作るか」そして「指導者としての入り口はどう立ってもらえるか」が大きな課題でした。各講習・実技とともにディスカッションが活発に行われ、高校生の熱意と真面目さに心を打たれながら、無事に講習会を終えることができました。この場をお借りして、土岐商業高校サッカー部のスタッフ・選手の皆さん、D ライセンスコーチ養成講習会へのご参加ありがとうございました。

今井 隆治

D ライセンス講習会のディスカッション、ゲームを担当させていただきました。皆さんのがオープンマインドで話し合いをしてくださったおかげで、どんどん学びが深まっていったように感じています。自分の意見を発信すること、相手の意見に耳を傾けることの大切さを実感していただきました。また、選手である皆さんのが指導者目線で学習することができて、言語化することの難しさやコミュニケーションの大切さに改めて気づき、サッカーの楽しさや深さを再確認できる場であったと思います。

西尾 真央

私自身も皆さんのが学んでいる姿から新たな発見や気付きがあり勉強になりました。土岐商業高校サッカー部の先生方や保護者の方にもご理解ご協力いただき、ありがとうございました。

【講義・実技の様子】





2025 年度



D ライセンスコーチ養成講習会

岐阜第一高等学校コース 報告書

日 程 : 2025 年 8 月 31 日(日)

場 所 : 講義会場・岐阜市スポーツ交流センター 実技会場・SHOWA スポーツピアザ

参 加 者 : 27 人

チューター: 牧野 健 ・ 高田 樹宜 ・ 寺田 亮太 ・ 松永 英機

【参加者の感想】

- 相手にとってマイナスになる声かけではその相手がやる気を無くしてしまったり嫌な気持ちになるので、褒めたりドンマイなど相手にとってプラスになる声かけをしていくことが大事だということを指導者目線として考えることができた。他にも言葉遣いや、わかりやすいように工夫することが大切だということがわかりました。他人の意見もしっかり聞き入れてオープンマインドでやっていきたいと思います。
樋笠 竜成さん
- 今までとは違い指導者の目線で、どのように選手に声をかけるなどを学ぶことができた。強い口調でただ指導するのではなく、プラスになる言葉を用いて指導することも大切だということを学んだ。仲間に伝えるときは強い口調ではなくプラスになるような言葉をかけていきたいと思った。これからはオープンマインドで周りの意見を取り入れてさまざまな視点からサッカーを学んでいき上達につなげていきたい。
青山 翔哉さん
- サッカーを指導するうえで大切な基本的な考え方や練習方法を学ぶことができました。選手の年齢や発達段階に合わせた指導を行うことや、安全面への配慮、子どもたちがサッカーを楽しめる雰囲気づくりの重要性を知りました。実際に体を動かしながら指導の仕方を体験することで、自分自身の理解が深まりました。今回学んだことをこれから活動にしっかり活かし、サッカーの楽しさを多くの人に伝えられるよう努力していきたいです。
向井 康介さん
- 指導者が大切にすることや、どうしたら楽しくサッカーができるのかを考えることができました。自分がサッカーを指導する際に意識したいことは、サッカーの楽しさを伝えられるようにすることです。トレーニングメニューを考えるだけでなく、選手がのびのびとサッカーができる環境をつくるのも指導者の役目の一だとと思いました。今は選手としてサッカーに関わっていますが、指導者になったときは選手よりも苦労することが多くあるのだ改めて感じました。所属しているチームの監督やコーチなどの大人に指導してもらえることに感謝しながらサッカーを頑張りたいとより一層強く思いました。
神山 悠悟さん

【担当チューターより成果と課題】

岐阜第一高校サッカー部の明るく楽しい雰囲気が伝わってきました。活発なディスカッションが行われ、キーワードである「オープンマインド」を常に心掛けてくれたかと思います。サッカーが嫌いにならない・サッカーで嫌な思いをしない、安心安全で誰もが生き生きとプレーできる環境づくりを岐阜第一高校の選手にはお願いしました。今回の学びや気づきを、今後の岐阜第一高校の皆さんにとって有意義なものになるようことを願っています。岐阜第一高校の選手・スタッフ・関係者の皆さん、今回の D ライセンスコーチ養成講習会に参加していただきありがとうございました。
牧野 健

チューターとして初めて U18 のコースを担当しました。セーフガーディングの担当をし、「サッカーを安全で安心のできる楽しい環境にしていくこと」を一緒に考えました。伝えることの難しさを感じたり、どんな指導をされた時に嬉しかったなどを振り返ったりすることで良い指導者像をみんなで考えることができました。講義後の実技では、指導者の視点をもつことで、プレーヤーの声かけ、アドバイスに変化があり、活発なゲームになっていきました。岐阜第一高校サッカー部の誠実さや真剣にサッカーを楽しむ姿が心に残っています。D ライセンスコーチ指導者養成講習会へのご参加ありがとうございました。
高田 樹宜

【講義・実技の様子】

